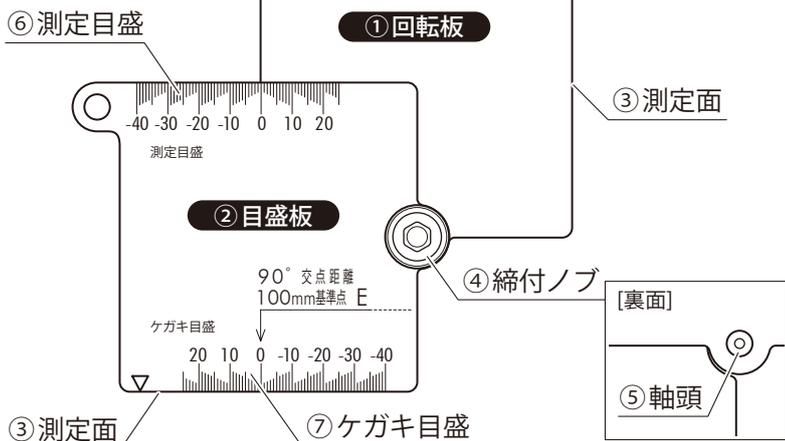


# 溶接施工用 測定工具 ステルスポイントリーダー

この度は「ステルスポイントリーダー SPR-E100」をお買い上げいただきありがとうございます。  
この商品は、溶接のすみ肉に隠れた角（交点）から基準点（100mm）の位置を割り出す測定工具です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（裏面記載）にご連絡ください。

## ■各部の名称と機能



- ①回転板 …… 回転させ、2ヶ所の測定面を構造材へ当てて使用します。
- ②目盛板 …… 目盛が印字されている側の板です。
- ③測定面 …… 「▽」が印してある面です。構造材へ隙間が無いように当てます。
- ④締付ノブ …… 回転板の動きを調整します。
- ⑤軸頭 …… 締付ノブを締める際に、共回りしないよう押さえます。
- ⑥測定目盛 …… 回転板と目盛板の交点を読み取る目盛です。
- ⑦ケガキ目盛 …… 測定目盛の数値から100mm基準点を割り出し、けがくための目盛です。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。



してはいけない内容『**禁止事項**』です。



必ず実行していただく内容『**強制事項**』です。



**注意** お守りいただかないと『**傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容**』です。



**取扱説明書をよく読み、指示に従う。**

- ・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



**測定作業にのみ使用する。**

- ・指定用途以外へのご使用は、製品の破損や磨耗、予測できない事故の原因となります。



**大切に扱う。**

- ・ぶつける、落とすなどの衝撃を与えたり、重量物を上に乗せたりしないでください。精度不良や破損の原因となります。
- ・商品に傷をつけないでください。



**下記の条件を満たす環境で使用・保管する。**

- 雨や水、油などがかからない、乾燥した場所
- 高温にならない場所
- 子供や、使用者以外が近付かない場所
- ・上記に反する場所での使用は製品の破損、事故やけがの原因となります。



**分解・改造を行わない。**

- ・製品の破損や事故の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。

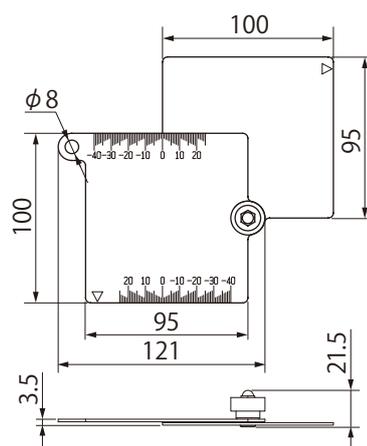
## 用途・特長

- 本製品は、溶接のすみ肉に隠れた角（交点）から基準点（100mm）の位置を割り出す測定工具です。
- 突合せて溶接された構造材の交点は、すみ肉があるため直接指し示すことができません。  
本製品の目盛板と回転板を構造材に当てることで、見えない交点から100mmの位置を知ることができます。

## 製品仕様

- 品番：SPR-E100
- 使用範囲：60°～120°（構造材の交点角度）
- 精度：±0.5mm
- 材質：ステンレス
- 質量：240g
- 付属品：取扱説明書、収納ケース

- 寸法図（単位：mm）  
※測定面板厚：1.5mm

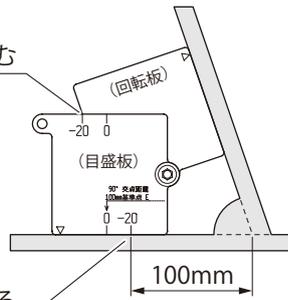


# 使用方法

- ① 構造材に、測定面（目盛板と回転板の▽マークのある辺）をぴたりと当たるように沿わせます。
- ② 測定目盛と回転板の交点の数値を読み取ります。
- ③ ①の状態のまま、②で読み取った値をケガキ目盛を使って、構造材に印をつけます。印の位置が、構造材交点から100mm離れた位置となります。

## 【測定例1】

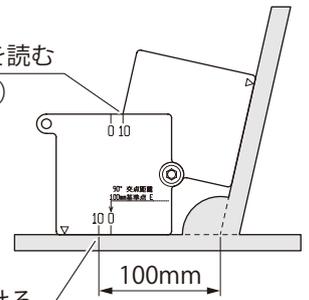
1. 交点を読む  
(例：-20)



2. 印をつける  
(例：-20)

## 【測定例2】

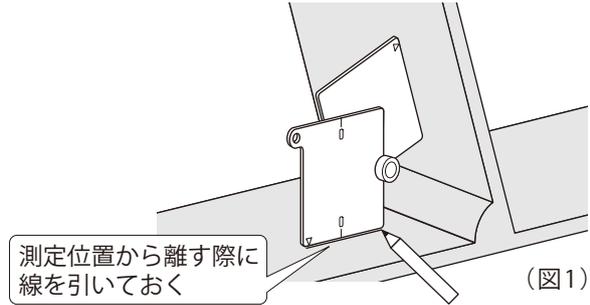
1. 交点を読む  
(例：10)



2. 印をつける  
(例：10)

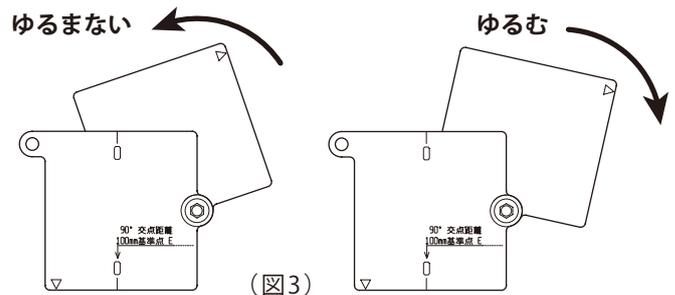
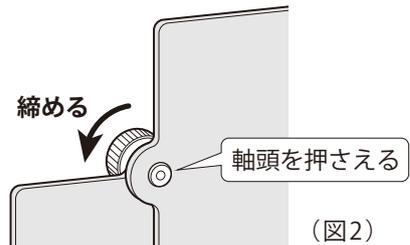
※測定目盛は目盛板の厚さで視差が出やすいので、目盛の正面から読み取ってください。

※測定目盛を手元で読む場合、ケガキ目盛の測定面に沿って線を引いておくと、印つけのときに同じ位置に合わせる目印になります。(図1)



# 板の回転とノブの締め付けについて

- 締め付ノブは強めに締めて使ってください。締めても回転板が回るよう、締め付ノブや板の間に滑りやすいワッシャーが入っています。
- 軸(ねじ)は回転板に固定されていません。共回りしないように回転板裏側の軸頭を指で押さえながら、締め付ノブを締めてください。(図2)
- 回転板を時計回りに回すと締め付ノブがゆるみます。(図3) 強く締めつけ過ぎて締め付ノブをゆるめられなくなった場合は、回転板を時計回りに回してください。
- 回転板を反時計回りに回すと、ノブがゆるまずに回転板を回せます。(図3) 構造材に測定面を当てる前に、回転板を開き気味にしてから締め付ノブを締めると、測定時に回転板が反時計回りに動くのでノブがゆるまず、手元を持ってきて測定目盛を読むことができます。



# 使用上のご注意

- 測定目盛は目盛板の厚さで視差が出やすいので、目盛の正面から読み取ってください。
- 締め付ノブをゆるめすぎると、回転軸部品になっている円筒状の部品(スペーサー)が目盛板や回転板の軸穴から外れます。(脱落はしません。) 外れると回転軸がずれますので、スペーサーを目盛板・回転板の軸穴にはまり込ませてから締め付ノブを締めてください。
- 製品の変形や測定面の削れは誤差の原因になりますので、取扱いに注意してください。

## 使用後のお手入れ・保管方法

- 測定面・摺動面・外観などの汚れや油などを乾いたウエスで拭き取る
- 付属のケースに入れ、乾燥した冷暗所に保管する  
直射日光や湿気は避け、管理者以外が触れない状態で保管してください。

発売元  新潟精機株式会社

〒955-0055 新潟県三条市塚野目6丁目15番22号

☎(0256)31-5660(代) FAX(0256)39-7730

URL <http://www.niigataseiki.co.jp>

I340-K

1711